

# 草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和2年度

「カロンガ県聴覚障害児特別小学校教室建設および水供給計画」

署名式

2021年2月18日



(左) 贈与契約の署名を行う岩切大使とカロンガ県聴覚障害児特別小学校サラ校長  
(右) ムワンゴ教育省統合教育副局長 (左)、サラ校長 (中央)、岩切大使 (右)



スピーチを行う岩切大使 (左) とサラ校長 (右)



歓談を行うムワンゴ副局長 (左) と岩切大使 (中央) 及び学校関係者

2021年2月18日、岩切敏大使とカロンガ県聴覚障害児特別小学校のサラ・ンクナ校長は、「カロンガ県聴覚障害児特別小学校教室建設および水供給計画」に関する草の根・人間の安全保障無償資金協力贈与契約を締結しました。本贈与契約署名式には、ノエル・ムワンゴ教育省統合教育副局長も出席し、日本政府および国民への謝辞を述べました。

この贈与契約は、カロンガ県聴覚障害児特別小学校が6教室（小学用2教室と幼児教室用4教室）と井戸を建設し、教室用の机を設置するための資金、90,649米ドルを日本政府が同校に供与するというものです。同校には現在、86人の聴覚障害を持つ児童が全寮制の下で就学しており、カロンガ県およびその周辺地域の35人の聴覚障害を持つ就学前幼児を収容する必要があります。

このプロジェクトは、6教室の建設を通じて同校に十分な学習スペースを提供し、新たに就学前幼児教育センターを設立します。また、全寮制の下で学習する児童のために、井戸建設を通じた生活用水の提供により衛生的な生活環境を提供します。早期の聴覚障害の査定および特別教育支援を受けることにより、聴覚障害を持つ児童も健常児童と同等のコミュニケーション能力および就学準備能力を発達させることができます。このプロジェクトを通じて、聴覚障害を持つ児童たちが、マラウイの発展および明るい未来作りに貢献する人材の育成に寄与します。

歓談の中で岩切大使は、聴覚障害を持つ児童が抱える苦境を理解しており、日本を含むドナーが、障害を持つ児童への特別教育支援を行う重要性を述べました。また、ムワンゴ教育省統合教育副局長は、教育省も必要を認識したうえで改善施策を推進しているが、より多くの関係者に支援をお願いしたいと述べました。